

第1学年 国語科

教科のねらい

- ① 国語への興味や関心をもち、意欲的に学習を進める態度を育てる。
- ② 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力を身に付ける。
- ③ さまざまな材料をもとに自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に書き表す力を身に付ける。
- ④ 目的に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する力を身に付ける。
- ⑤ 漢字や言葉の意味を理解し、用途に応じて使い分ける力を身に付け、正しく美しく文字を書く力を育てる。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	○教科書 国語（光村図書）新しい書写（東京書籍） ○副教材 国語の学習（明治図書） 漢字練習ノート（とうほう） すらすら基本文法（浜島書店） 国語便覧（浜島書店）	持ち物	教科書 ノート ファイル 国語の学習 漢字練習ノート 国語便覧 すらすら基本文法
学習の進め方	《確かな学力を身に付けるには》 ○学習課題を把握し、課題に対して前向きに取り組もう。 ・疑問に思ったことや、分からなかったことを解決する努力をしよう。 ・学習課題に対して多面的に見たり考えたりする力を付けよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦しよう。 ・分かったこと、解決できたことに自信をもとう。 《家庭学習》 ○予習として、教科書を繰り返し音読しよう。 ○毎時間の漢字を復習し、基礎的な力を付けよう。（「漢字練習ノート」） ○復習として、授業で習ったところを、ノートやワーク（「国語の学習」）等で確認しよう。 ○宿題・提出物を、期限までに着実に仕上げよう。 《定期テスト》 ○テスト発表時に通知される範囲を計画的に復習しよう。 ○授業中に学習したところを復習しよう。 ○放課後おこなう学習会（質問日）などを活用し、疑問点などを解決しよう。 ○テストが返却されたら、間違ったところをやり直そう。		
学習上の注意等	○授業中は先生や発表する人の話をよく聞き、気持ちを集中させよう。 ○積極的に自分の意見を発表しよう。 ○ノートに自分の考えや感想も書き込もう。 ○授業で配られたプリントはファイルにきちんととじて、整理しよう。 ○家庭学習で時間に余裕が生まれたときは、読書・ワーク・漢字の学習・予習・復習などから自分で課題を選択し、自主学習を進めよう。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点		評価の場面・方法
1	4	詩「野原はうたう」 物語「花曇りの向こう」 言葉「話し言葉と書き言葉」	中間	国語に対する関心・意欲・態度	・国語に対する興味・関心を持って、意欲的に授業に取り組もうとしている。 ・学習した内容を振り返り、自分の力にしようとしている。	・チャイム着席 ・授業の準備 ・漢字テストへの取り組み方 ・発表意欲 ・行動観察 ・ノートのまとめ方 ・課題などの提出物
	5	説明文「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 書く「わかりやすく説明しよう」				
	6	話す・聞く 「『好きなもの』を紹介しよう」 漢字「漢字の組み立てと部首」 文法「言葉の単位」	期末			
	7	詩「詩の世界」 随筆「空を見上げて」 情報の集め方を知ろう 読書案内、課題作文		話す・聞く能力	・相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて、的確に話したり聞いたりすることができる。	・話を聞く様子 ・発表の内容・様子 ・討論の内容・様子 ・聴き取りテスト
2	9	物語「星の花が降るころに」 「大人になれなかった弟たちに……」	中間	書く能力	・文章の形態に応じ、適切な構成で書くことができる。 ・自分の立場および伝えたい事柄を明確に示し、自分の考えや思いが相手に伝わるように書くことができる。	・ノート ・要旨をまとめる ・感想をまとめる ・課題作文 ・読書感想文 ・定期テスト
	10	記録「シカの『落ち穂拾い』」 漢字「漢字の音訓」 古典「いろは歌」 「月に思う」				
	11	「蓬萊の玉の枝」 話す・聞く 「話題や方向を捉えて話し合おう」	期末	読む能力	・文章の筋道をとらえながら、正確に読み、書いてある内容を正確に理解することができる。 ・表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことができる。	・授業の課題 ・朗読 ・定期テスト
	12	文法「文の組み立て」 言葉「指示する語句と接続する語句」 漢文「今に生きる言葉」 古典「小倉百人一首」 書写（毛筆・楷書と行書） 読書案内、課題作文				

3	1	説明文「幻の魚は生きていた」 書く「（鑑賞文）根拠を明確にして 魅力を伝えよう」	学年末	言 語 に つ い て の 知 識 ・ 理 解 ・ 技 能	・漢字を正しく書くことができる。文脈における語句の意味を正確にとらえることができる。 ・字形や字の大きさ、配置を整えて書くことができる。 ・日本語の文法を正しく理解できる。	・漢字テスト ・定期テスト ・ノート ・書写作品 ・課題などの提出物
	2	言葉「さまざまな表現方法」 文法「単語の分類」 詩「竹」 漢字「漢字の成り立ち」				
	3	話す・聞く・書く 「一年間の学びを振り返ろう」 小説「少年の日の思い出」 詩「ぼくが　ここに」 読書案内、課題作文				